

安全データシート

改訂日:2021年1月18日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称
会社名
住所
電話番号

還元鉄
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
BA0310

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性固体:区分2
急性毒性(吸入:粉じん):区分4

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

警告

可燃性固体

吸入すると有害(粉じん)

【安全対策】

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。

静電的に敏感な物質を積み直す場合、容器を接地すること/アースをとること。

粉じん雲を発生する可能性がある場合、防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/スプレアの吸入を避けること。

保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急処置】

火災の場合、消火には適切な消火剤を使用すること。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は医師に連絡すること。

【保管】

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

皮膚/眼を刺激する。

皮膚への接触:発赤

GHS分類に該当しない他の危険有害性
重要な兆候及び想定される非常事態の概要

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名

化学式

化学物質を特定できる一般的な番号

濃度又は濃度範囲

官報公示整理番号(化審法/安衛法)

化学物質

鉄

Fe

CAS RN:7439-89-6

Fe 90%以上

対象外

4. 応急措置

吸入した場合

口をすすぎ鼻をかませる。新鮮な空気のところに移動させる。気分が悪い時は医師の診断/手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服を脱がせる。多量の水かシャワーで皮膚を洗い流す。皮膚への刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受ける。

眼に入った場合

数分間多量の水で洗い流し(できればコンタクトレンズを外して)、医師の診断/手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぎ。多量の水を飲ませて吐かせる。気分が悪い時は医師の診断/手当てを受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

使ってはならない消火剤

特有の危険有害性

特有の消火方法

消火を行う者の保護

乾燥砂、泡末消火剤

製品の粉末を飛散させないように粉末消火剤の使用は避ける。

粉末の飛散により火災が拡大するおそれがある。

容器を他の場所に移動させる。移動できない場合は容器周辺に注水して冷却する。

大量の場合、水噴霧により冷却する。

消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材

二次災害の防止策

作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。

保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。

河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。

こぼれた物質を容器内に掃き入れる。

残留分を多量の水で洗い流す。

放電火花を発生しない道具を用いる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

安全取扱い注意事項

接触回避

衛生対策

保管

安全な保管条件

安全な容器包装材料

漏れ、あふれ、飛散しないようにする。

眼、皮膚、衣類に付けないこと。

酸

作業中は飲食／喫煙をしない。

取扱い後はよく手を洗うこと。

高温多湿を避け(40℃以下)、風通しのよい場所で密封して保管する。

ポリエチレン

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度(出典)

管理濃度

日本産業衛生学会

ACGIH

設備対策

保護具

呼吸用保護具

手の保護具

眼の保護具

皮膚及び身体の保護具

未設定

1mg/m³(吸入性粉じん)

未設定

取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。

防塵マスク又は簡易防塵マスクを着用する。

ゴム手袋を着用する。

ゴーグルを着用する。

作業着を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

臭い

融点・凝固点

沸点、初留点及び沸騰範囲

可燃性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

引火点

自然発火温度

分解温度

pH

動粘性率(粘度)

溶解度

n-オクタノール/水分配係数

蒸気圧

密度及び/又は相対密度

相対ガス密度

蒸発速度

暗灰色の粉末

無臭

1535℃

2730℃

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

不溶

該当情報なし。

該当情報なし。

7.86

該当情報なし。

該当情報なし。

10. 安定性及び反応性
反応性、化学的安定性
危険有害反応可能性

通常の取り扱いにて安定である。
酸との接触により爆発性のある水素ガスを発生する。
湿気により酸化し赤熱することがある。
高温、湿気(水分)、混触禁止物質との接触
酸、塩素酸ナトリウム、過酸化水素
該当情報なし。

避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物

11. 有害性情報
急性毒性

経口：EUDSD分類ではR-Phrase20(飲み込むと有害である)となっており区分4に相当するが、経口-ラットLD50が30000mg/kgであることから区分外とした。

経皮：該当情報なし。

吸入：EUDSD分類ではR-Phrase22(吸入すると有害)となっており区分4に相当する。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性
呼吸器感受性又は皮膚感受性
生殖細胞変異原性
発がん性
生殖毒性
特定標的臓器毒性(単回暴露)
特定標的臓器毒性(反復暴露)
誤えん有害性

皮膚を刺激する。(データ不足の為、分類できない)
眼を刺激する。(データ不足の為、分類できない)
該当情報なし。(分類できない)
該当情報なし。(分類できない)
該当情報なし。(分類できない)
該当情報なし。(分類できない)
該当情報なし。(分類できない)
該当情報なし。(分類できない)
該当情報なし。(分類できない)

12. 環境影響情報

生態毒性
残留性・分解性
生体蓄積性
土壤中の移動性
オゾン層への有害性

該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制
国連番号
品名(国連輸送名)
国連分類
容器等級
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

3089
金属粉末(可燃性)
4.1 (容器等級Ⅲであり可燃性固体区分2に相当)
Ⅲ
運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
該当法規制特定できず。
消防法の規定に従う。
船舶安全法の規定に従う。
航空法の規定に従う。
170

国内規制がある場合の規制情報
陸上輸送
海上輸送
航空輸送
応急措置指針番号

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)
毒物及び劇物取締法
労働安全衛生法
消防法

指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物に該当しない。
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
危険物に該当しない。

16. その他の情報

引用文献

政府向けGHS分類ガイダンス
経済産業省HP
The-Sigma-Aldrich Library REGULATORY and Safety Data Vor.3
化学品の分類及び表示に関する世界中和システム(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。